

2020年1月16日

～M9クラスの超巨大地震と津波 低頻度・巨大災害をどう理解・評価すべきか～ 原子力土木委員会 公開講演会を1/21(火)に開催します

2004年12月にインド洋で発生した『スマトラ・アンダマン地震』、2011年3月の『東北地方太平洋沖地震』は、M9クラスの超巨大地震であり、甚大な被害をもたらしました。両地域とも、実は過去にも同様な地震・津波が起きていたことが最近の古地震・津波調査で分かってきました。

このような低頻度・巨大災害について、我々はどこまで理解・評価できているのか、講師に東京大学 地震研究所の佐竹健治先生をお迎えし、議論いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

【詳細】

1. 日時：2020年1月21日(火)16:00～17:30 (質疑 15分程度含む)
2. 場所：土木会館 講堂 (東京都新宿区四谷一丁目 外濠公園内)
<http://www.jsce.or.jp/contact/map.shtml>
3. 参加費：無料
4. 講師：佐竹 健治 先生 (東京大学 地震研究所 教授)
5. 演題：「M9クラスの超巨大地震と津波：低頻度・巨大災害の評価」
6. 主催：土木学会 原子力土木委員会
7. 行事情報 URL：<http://committees.jsce.or.jp/ceofnp/node/112>

以上

問合せ先： 公益社団法人 土木学会 研究事業課 丸畑
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内
TEL: 03-3355-3559 E-Mail: maruhata@jsce.or.jp